



このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。



低消費電流のロングライフ設計

2電源方式 / 12V車対応



⚠注意

この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

高感度コードレスレーダー探知機

SRX-9

取扱説明書

目次

はじめに	安全上のご注意	2
	主な特長	6
	ご使用にあたって	7
	各部の名称と働き	8
取り付けかた	フロントガラスに取り付ける	10
	電源について	12
使いかた	音量/受信感度を設定する	16
	警報機能について	18
	S-TRAP探知機能について	19
	便利な機能について	20
その他	受信しにくい場合	21
	取締りのミニ知識	22
	故障かな?と思ったら	24
	アフターサービスについて	26
	仕様	27

初めてご使用になるときは、付属のシガープラグを使い、15時間以上充電しながらご使用ください。

安全上のご注意

つづく

はじめに

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

! この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

⊘ 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

⚠ 警告

⊘ 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

! 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

! 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

⊘ バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⊘ 医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

はじめに

⚠警告

シガープラグ使用时

-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
-  シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
-  シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。
-  12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
-  煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。
-  助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用时に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

シガープラグ使用时

-  取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。
-  車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワースイッチ機能を搭載していますが、使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。特にシガープラグを接続している場合は、シガーライターソケットに常時電源が供給される車種があります。また、長期間ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。
-  シガープラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。
-  お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

電池について

-  専用電池以外は使用しない…内蔵の電池は本機専用です。安全のため専用電池以外は使用できません。

日頃から安全運転をお心がけください

このレーダー探知機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。レーダー方式以外の赤外線や光電管式、ワイヤー式などのスピード測定装置には反応しません。また、電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに注意してください。
※ 探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

主な特長

はじめに

- 1 ソーラーバッテリーを搭載した高感度コードレスタイプ。
 - 2 小型でエネルギー密度が高く、しかも地球環境にやさしいニッケル水素電池を採用。
 - 3 カーナビの電波をシッカリ識別、誤警報をキッチリ排除するGPS対策。[特許出願中]
 - 4 ステルス型も、新Hシステムもシッカリ識別するS-TRAP(スーパートラップ)探知機能。
 - 5 遠くの取締りを探知するスーパー感度。
 - 6 高い性能を実現するDROを採用したDSH(ダブルスーパーヘテロダイン)方式の受信回路。
 - 7 高い選択度を実現するマイクロコンピューターによる受信信号識別回路。
 - 8 Kバンド導入の動きに備えたX・Kツインバンド対応。
 - 9 電子音アラームと高輝度アラームランプで知らせるデュアル警報方式。
 - 10 それぞれの警報が取締りレーダー波への接近に応じて変化する段階的警報システム。
- 11 不要となった警報音をカットできるミュート機能。
 - 12 知覚後の警報を自動的に抑えるオートクワイアット/オートディマー機能。
 - 13 後方からの取締りに対応するリフレクションプレート付きブラケット。
 - 14 消費電流を抑えた低消費電流化回路によるロングライフ設計※
 - 15 バッテリーのムダな消耗を防ぐオートパワースイッチ機能。
 - 16 充電の必要なことを知らせるバッテリーアラーム機能。
 - 17 カー電源(12V車)に接続して充電・使用ができる2電源方式。

※ フル充電後、まったく充電されない状態でも約50時間(無警報時)の連続使用ができます。

ご使用にあたって

まず最初に充電します

初めてご使用になるときは、付属のシガープラグを使い、15時間以上充電しながらご使用ください。

使用上のご注意

- 一部の車種に採用されている断熱ガラスは、電波の透過率が低いため、探知距離が短くなることがあります。
- 本機のDCジャックの入力電圧は、12V専用です。24V車(バス、大型トラックなど)での使用はできません。

動作温度範囲について

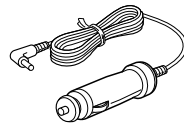
- 本機は、-10℃～+85℃まで正常な動作が保証されています。夏、冬とも安心してご使用ください。(充電可能温度範囲は、-5℃～+85℃です。厳寒地でご使用になる場合は、付属のシガープラグでご使用ください)

本機は専用のニッケル水素電池を内蔵しています。内蔵の電池は本機専用で、他の機器に使用することはできません。また安全のため専用の電池以外は本機に使用できません。電池を交換する場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

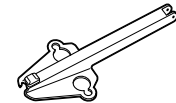
付属品

■ご使用前に付属品をお確かめください。

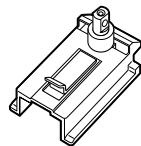
●シガープラグ(1)



●フロントガラス用ベース(1)



●ブラケット(1)



- 吸着盤(2)
- クッションカバー(1)
- 取扱説明書(1)
- 保証書(1)
- ご相談窓口一覧(1)

※工場出荷時に、ブラケットとフロントガラス用ベースがセットされています。

別売品のお知らせ

電源直結コードOP-4
1,500円(税別)

シガーライターソケットを使わずに、アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。(コード約4m)

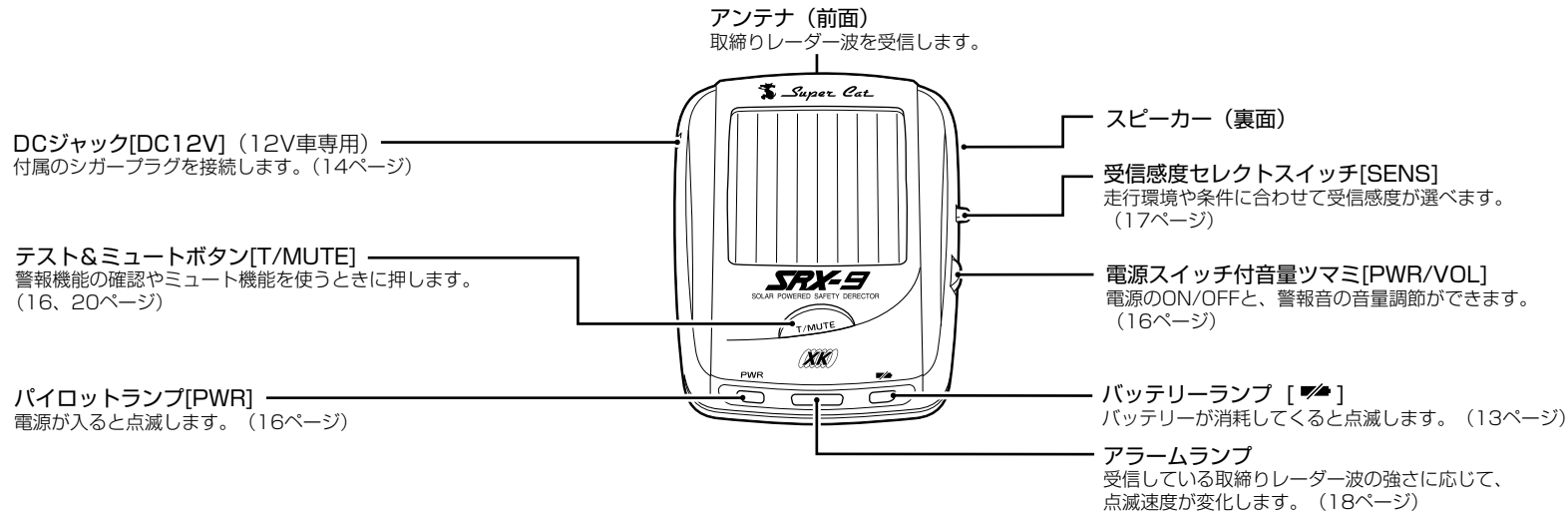
本機を取り付けてのスピード違反に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

はじめに

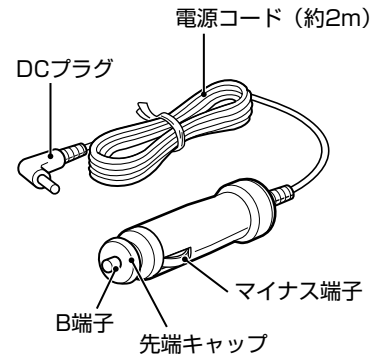
各部の名称と働き

はじめに

本体



シガープラグ

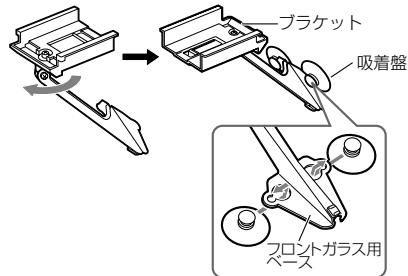


はじめに

フロントガラスに取り付ける

つづく

1 ブラケットの向きを変えたあと、フロントガラス用ベースに、吸着盤を取り付ける

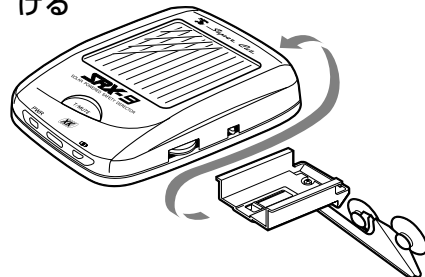


工場出荷時に、ブラケットとフロントガラス用ベースがセットされています。

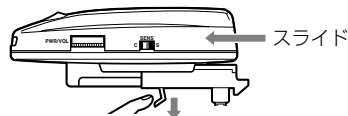
警告

！ 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

2 付属のブラケットを本体に取り付ける



ブラケットを取り外すときは、ブラケットの下のツメを軽く押し下げてください。

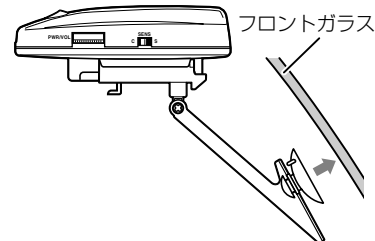


注意

！ 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

3 フロントガラス下部に貼り付ける

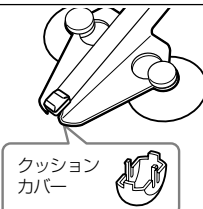
吸着盤(吸着面)に水などをつけて、フロントガラスの中央下部の日光の良く当たる場所に貼り付けます。



アンテナの前に他の機器のアンテナや金属、ゴムなどの障害物がこないように取り付けます。

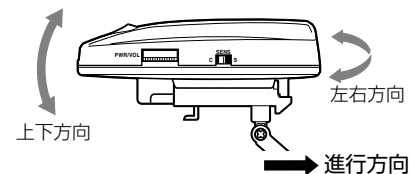
※ 湾曲のきつい部分へは取り付けしないでください。取り付けが安定しないばかりでなく、振動を検出しにくくなり走行中でも電源が切れることがあります。(オートパワースイッチ機能 13ページ参照)

振動が検出しにくく、よく電源が切れる場合は、クッションカバーを取り付けてみてください。



4 道路に対して、本体を水平にする

アンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整します。



取り付けかた

取り付けかた

フロントガラスに取り付ける

- アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属、ゴムなどの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- 使用中、本体が傾くような場合は、ネジの締め付けを行ってください。
- ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

⚠ 警告



エアバックの上に取り付けしないでください。万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

電源について

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、ソーラープレートによる太陽光からの充電ができます。

初めてご使用になるときは、付属のシガープラグを使い、15時間以上(例 1日3時間で5日間)充電しながらご使用ください。

初期充電を充分に行えば、使用中のバッテリーの消費分は、走行中や駐車中に太陽光からの充電で補充されます。

※通常は、シガープラグを接続せずに使用できます。

■ソーラーバッテリーの充電と使用方法

電源ボタンの入/切に関係なく充電できます。1度充電したあとは、シガープラグを抜いて、そのままお使いください。(シガープラグで充電する場合、バッテリーアラームが鳴った状態から約15時間でフル充電できます。フル充電したあとは、まったく充電されない状態でも、無警報時で約50時間の連続使用ができます)

■オートパワースイッチ機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。(振動を検出すると電源が入ります)

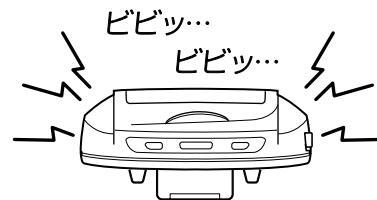
※ 振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。

※ 走行速度が非常に遅い場合や渋滞のときなどの一時的な停車であっても、振動を検出できない状態が約3分間続くと、オートパワースイッチ機能により、自動的に電源が切れることがあります。

つづく

バッテリーアラーム機能について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続くバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、アラーム音が鳴り出します。このようなときは充電が必要です。付属のシガープラグを使い、充電してください。

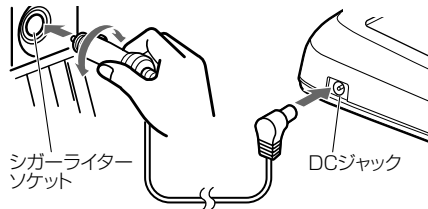


冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能により、充電しにくくなる場合があります。バッテリーアラーム機能がひんぱんに働くときは、シガープラグでの使用をお勧めします。

シガーライターソケットからの充電と使用方法

付属のシガープラグを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。



⚠ 警告

！ 助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

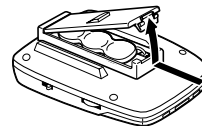
1. 本機のDCジャックは12V車専用です。
2. シガープラグで充電する場合、バッテリーアラームが鳴った状態からは、約15時間でフル充電できます。
3. シガープラグは、必ず付属のものをご使用ください。
4. シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
5. シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
6. 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。(7ページ参照)
7. 本機をバッテリーなどと直接接続すると破損します。絶対におやめください。

電池交換の方法

内部のバッテリーには寿命があります。充電が十分できなくなったら、新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが、約3～5年を目安にしてください。)

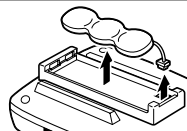
- 本機は専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため専用電池以外は使用できません。新しいバッテリーについては、お買いあげの販売店、または最寄りの弊社営業所、サービス部にご相談ください。なお、バッテリーの寿命にかかわらず、シガープラグを接続しての使用はできません。

1



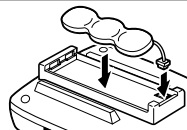
バッテリーカバーを開けます。

2



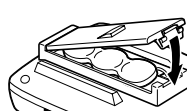
バッテリーを取り出し、コードのプラグを外します。

3



新しいバッテリーのプラグを差し込み、バッテリーを収納します。

4



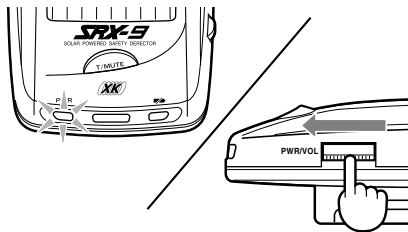
コードを挟まないように注意してバッテリーカバーを閉めます。

音量/受信感度を設定する

※ 設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

電源スイッチ付音量ツマミを回して電源を入れます。

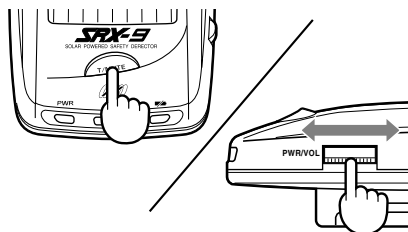


確認音(㇏)ピロップピロツ…)が数秒間鳴り、パイロットランプが点滅します。

※節電のため、パイロットランプは点滅で動作します。

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、電源スイッチ付音量ツマミを回します。

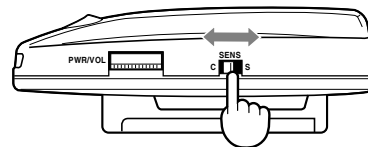


押している間はテストモードとなり、警報音が鳴り続けます。

※ テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報が止まります。(20ページ参照)

3 受信感度を選ぶ

受信感度セレクトスイッチで切り換えます。



スーパー感度モードとカットダウンモードの切り換えができます。

受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信しやすくなります。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

■ 受信感度の切り換え

受信感度		走行環境や条件
低い ↓ 高い	カットダウンモード c  s	市街地
	スーパー感度モード c  s	郊外や高速道路

警報機能について

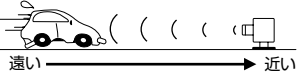
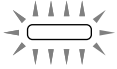
本機は、デュアル警報方式と段階的警報システムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

デュアル警報方式

警報音（電子音）とアラームランプで、耳と目に伝えます。

段階的警報システム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近（電波の強弱）に合わせて変化します。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。 

- 警報が約20秒間続くと、ランプ類が暗くなり、アラームの音量も小さくなります。（オートディマー機能/オートクワイアット機能）

GPS対策

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがありましたが、この電波を安易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しないという、相反する問題がありました。本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。（自動識別&設定機能：特許出願中）さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および温度変化などによる周波数変動の状態を常にチェックし、変化があれば自動的に補正し、誤警報を排除しています。（自動補正機能：特許出願中）

- ※カーナビゲーションからの影響を排除している場合、受信している電波の識別判定がしにくく、新Hシステムやステルス波に対しても通常の警報音となる場合があります。
- ※自動ドアなど、常に電波の出ている場所でエンジンを始動すると、GPSを排除できない場合があります。このようなときは電波の出ていない場所に移動して、再度、本機の電源スイッチを入れ直してください。

S-TRAP(スーパートラップ)探知機能について

ステルス型取締り機と新Hシステムへの対応

ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」など、従来機では対応の難しかった取締りレーダー波を識別して、専用のニアミスアラーム（㊦）ピロップピロップロッ…）を鳴らして警報するS-TRAP探知機能を内蔵しています。ニアミスアラームが鳴った場合は、特に注意してください。

※S-TRAP探知機能を解除することはできません。

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機（オービス）の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波を使用しているため、従来機では探知（受信）しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ちの取締り機です。従来機では、先頭を走行せずに2番手以降で走行していても、一瞬しか警報されません。

- S-TRAP探知機能はステルス型の取締り機に対し、完全対応というわけではありません。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもあり、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ニアミスアラームが鳴ることがあります。

便利な機能について

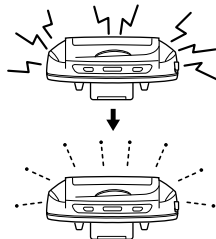
オートディマー機能

警報が20秒間続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、ランプ類が暗くなります。

ミュート機能

- 取締りレーダー波の発信源の確認ができた

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報を一時的に消すことができます。



オートクワイアット機能

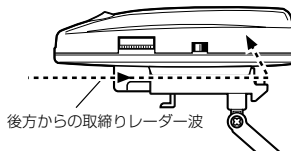
警報が20秒間続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、警報音が小さくなります。

※カットダウンモードでは、受信後の警報音を抑え、強い電波を受信してから警報音を出しますので、はじめから小さな音で警報したり、すぐに警報音が小さくなる場合があります。

新方式ブラケット

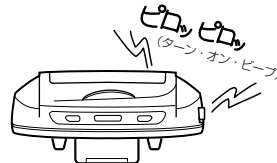
- 後方からの取締りに対応

リフレクションプレートにより、後方からの取締りレーダー波をより確実に受信することができます。



ターン・オン・ビープ

電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



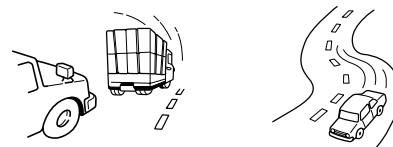
- ・バッテリーが消耗している場合は、ターン・オン・ビープのあとバッテリーアラームが鳴ります。(バッテリーが著しく消耗している場合を除く)

受信しにくい場合

電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

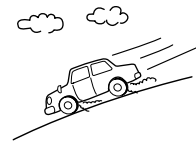
電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、電波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕



〔下り坂〕

- 対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法

(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

2. 距離と時間で算出する方法

(光電管式、ループコイル式)

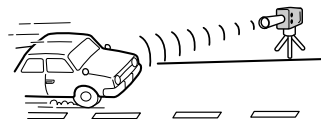
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。

測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込みの磁気スイッチなどが使われています。

3. 電波を使って算出する方法

(レーダー方式)

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると考えられます。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

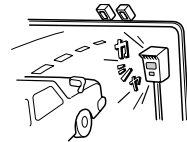


移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

自動速度取締り機(オービスⅢ)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも使用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

本機はレーダー方式のスピード測定装置に対応します。

※ 探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にご相談ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	・電源スイッチがONになっていますか。 ・バッテリーが消耗していませんか。シガープラグを使って充電してください。 ・オートパワースイッチ機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	・太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグを使って充電できるか確認してください。 ・シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、新しいヒューズと交換してください。
反応(警報)しない	・電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅を確認してください。 ・警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 ・オートパワースイッチ機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。走行中でもオートパワースイッチ機能が働く場合は、取り付けかたを変えてください。 ・取締りレーダー波が発射されていませんか。取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスⅢではよくあります) ・取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。

※正常に受信するかどうかの確認は、電波式の自動ドアや、販売店のチェック用発信機で行うことができます。

症状	チェック項目
取締りもしていないのに警報機能が働く	・ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグを使って充電してください。 ・取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ・まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— ・電波式の自動ドア、防犯センサー ・信号機の近くに設置されている車輛通過計測機 ・NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部 ・気象用レーダー、航空レーダーの一部 ・他のレーダー探知機の一部
警報の途中でランプ類が暗くなる/警報音が小さくなる	・警報が20秒以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるために、ランプ類が暗くなり、警報音も小さくなります。 ・カットダウンモードでは警報音がはじめから小さくなったり、すぐに警報音が小さくなったりする場合があります。
カーナビゲーションの影響を排除できない	・自動ドアなど、常に電波の出ている場所でエンジンを始動しませんでしたか。電波の出ない場所で、再度本機の電源スイッチを入れ直してください。

アフターサービスについて

1. 保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間

3. 対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

●保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

5. アフターサービス等についてご不明の点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

仕様

電源電圧	： 3.6V(ニッケル水素電池1.2V×3) 12V(シガープラグ入力電圧)
消費電流	： 待機時:3mA以下 最大 :50mA以下
受信方式	： スイープオシレーター式ダブルスーパー ヘテロダイン方式
受信周波数	： Xバンド、Kバンド
動作温度範囲	： -10℃～+85℃ (充電可能温度範囲:-5℃～+85℃)
本体外形寸法	： 70(W)×23(H)×100(D)mm(突起部含まず)
本体重量	： 120g

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

SRX-9

コピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33
6SS0506-B